

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 元離宮二条城の運営について

二条城は、1603年徳川家康により造営されました。その後、国から京都市に下賜され、元離宮二条城として1940年（昭和15年）から一般公開しております。

合わせて、国宝の二の丸御殿をはじめとした文化財を保存し、次世代への継承に取り組んでおります。

### 料金改定について（令和4年6月1日付）

一般：1,030円 → 1,300円

中高生：350円 → 400円

小学生：200円 → 300円

※上記の金額は、二の丸御殿観覧料を含みます。

※市内在学在住の中学生以下、市内在住の70歳以上の方等は引き続き無料

### 元離宮二条城の収入と支出

#### <支出>

総額 12 億円

利用者 1 人当たりの運営経費 1,090 円

運営経費 1,090 円

#### <収入>

総額 12 億円

利用者 1 人当たりの収入 1,090 円

入城料収入等  
(改定前) 930 円  
(改定後) 1,090 円

差額（公費で負担）  
(改定前) 160 円  
(改定後) 0 円

有料の方と無料の方を含む利用者 1 人当たりの額です

いずれも概数  
〔10 円単位で四捨五入〕

料金改定をしない場合は支出が収入を上回り、文化財修理などの維持管理のため、市民の税金での負担が必要となります。改定により、入城料収入等で文化財の維持管理等が可能になり、さらに寄附金については別途基金に積み立て、本格修理事業をはじめとする文化財の保存に必要な整備に活用します。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。